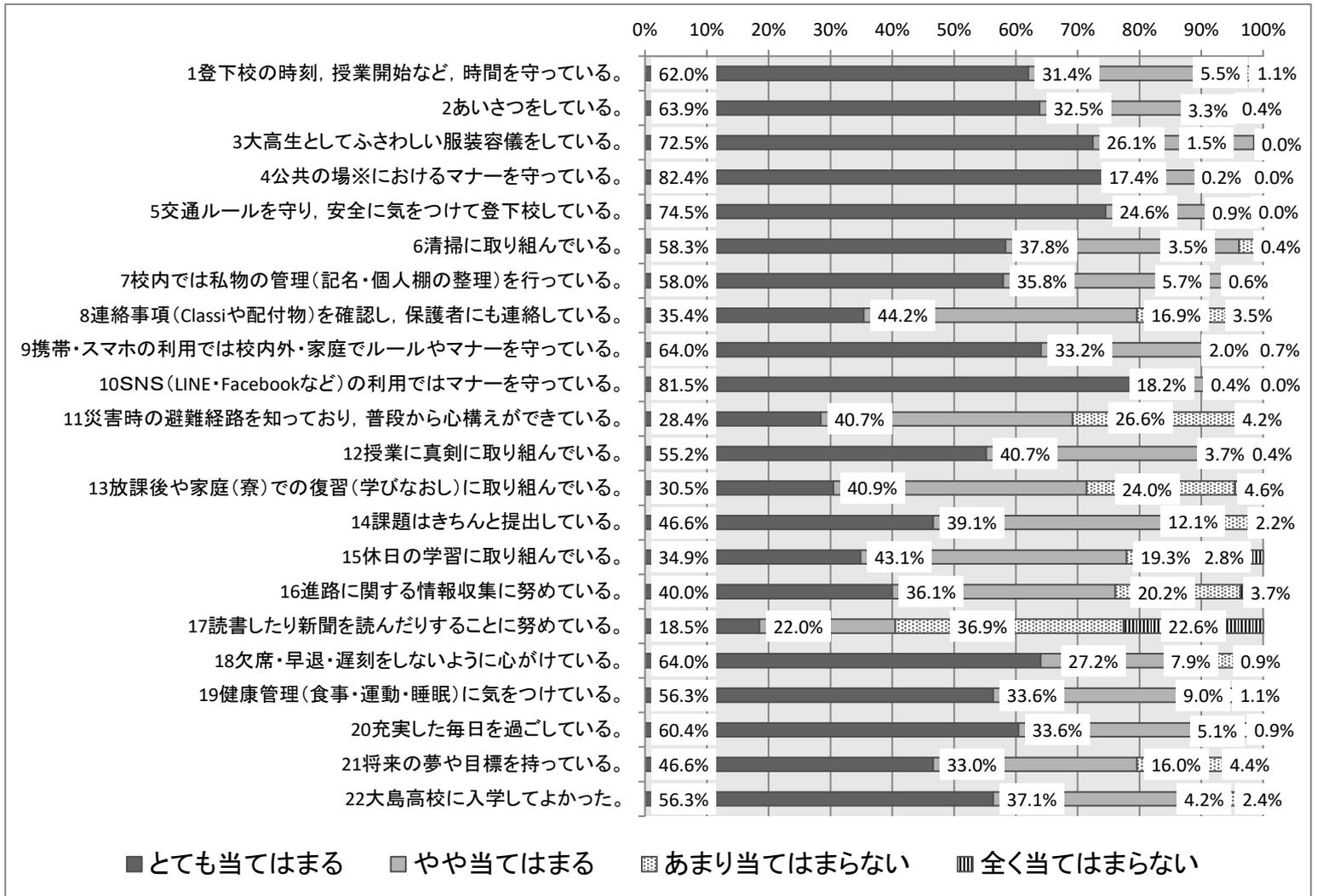


令和6年度 第2回 学校生活に関する自己評価(生徒用)集計結果 全学年



(とても当てはまる+やや当てはまる で比較)

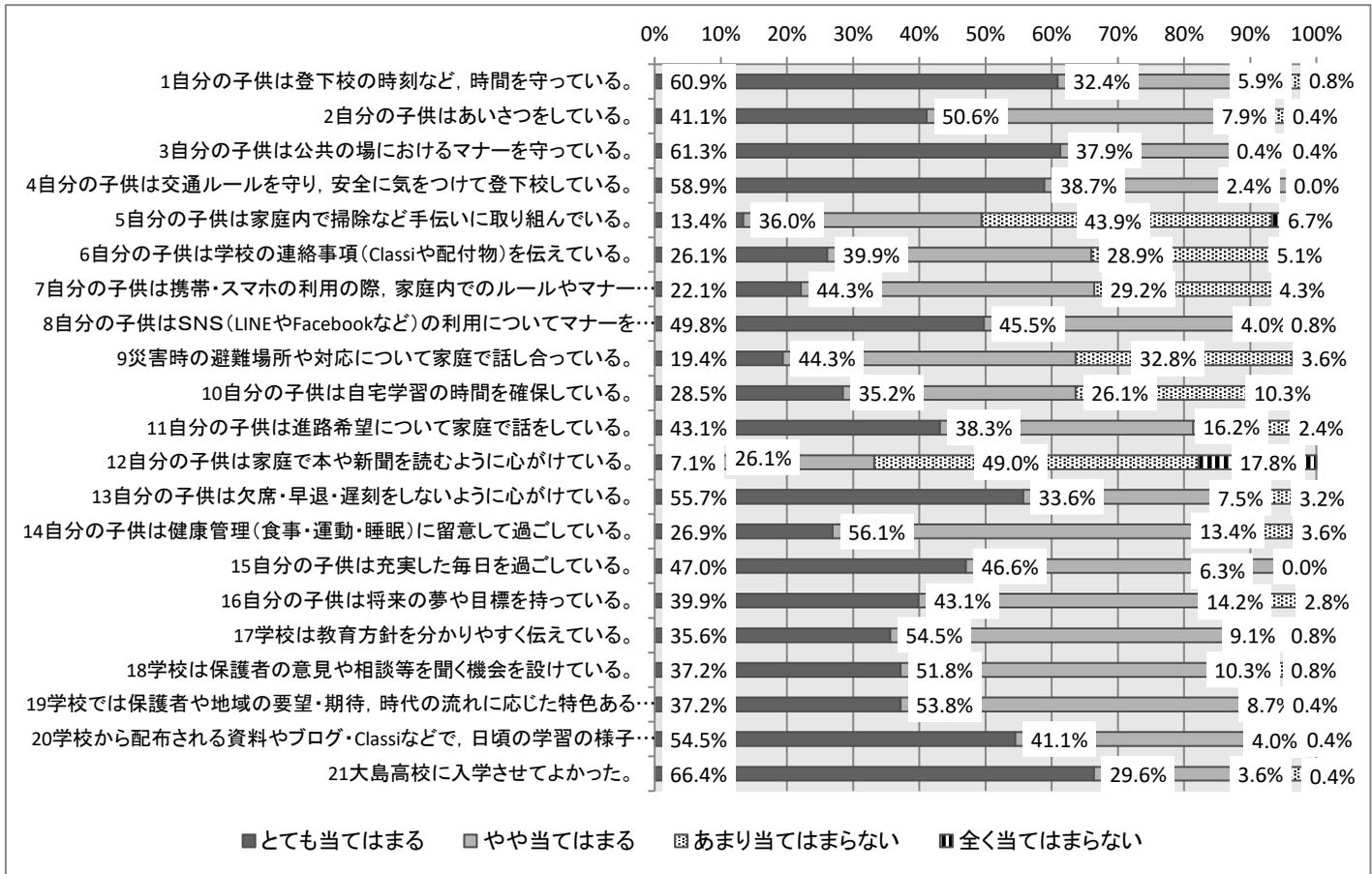
- 追加した質問項目 → 22大島高校に入学してよかった。93.4%
- 評価の高かった項目
 - 第1位 → 4公共の場におけるマナーを守っている。99.8%
 - 第2位 → 10SNS (LINE・Facebookなど) の利用ではマナーを守っている。99.7%
 - 第3位 → 5交通ルールを守り, 安全に気をつけて登下校している。99.1%
- 評価の低かった項目
 - 第1位 → 17読書したり新聞を読んだりすることに努めている。40.5%
 - 第2位 → 11災害時の避難経路を知っており, 普段から心構えができています。69.1%
 - 第3位 → 16進路に関する情報収集に努めている。76.1%
- 第1回(7月)から上昇
 - 第1位 → 8連絡事項(Classiや配付物)を確認し, 保護者にも連絡している。+4.7%
 - 第2位 → 11災害時の避難経路を知っており, 普段から心構えができています。+2.9%
 - 第3位 → 21将来の夢や目標を持っている。+2.1%
- 第1回(7月)から下降
 - 第1位 → 1登下校の時刻, 授業開始など, 時間を守っている。-4.2%
 - 第2位 → 18欠席・早退・遅刻をしないように心がけている。-3.7%
 - 第3位 → 19健康管理(食事・運動・睡眠)に気をつけている。-2.5%

6 調査期間 令和6年12月20日~12月27日

7 総括

前回の調査(7月)と同様に「4公共の場におけるマナーを守っている。99.8%」や「10SNS (LINE・Facebookなど)の利用ではマナーを守っている。99.7%」の項目が生徒全体としては高い。また、「17読書したり新聞を読んだりすることに努めている。40.5%」は、とくに値が低く課題といえる。前回の調査(7月)から上昇したのは「8連絡事項(Classiや配付物)を確認し, 保護者にも連絡している。+4.7%」であり、「1登下校の時刻, 授業開始など, 時間を守っている。-4.2%」や「18欠席・早退・遅刻をしないように心がけている。-3.7%」, 「19健康管理(食事・運動・睡眠)に気をつけている。-2.5%」の生徒の自己評価は下がってきている。「22大島高校に入学してよかった。」についての項目は前回の調査(7月)より+2.1%で上昇している。

令和6年度 第2回 学校生活に関する自己評価・学校評価(保護者用)集計結果全学年



(とても当てはまる+やや当てはまる で比較)

1 追加した質問項目→ 21大島高校に入学させてよかった。96.0%

2 評価の高かった項目

第1位→ 3自分の子供は公共の場におけるマナーを守っている。99.2%

第2位→ 4自分の子供は交通ルールを守り、安全に気をつけて登下校している。97.6%

第3位→ 21大島高校に入学させてよかった。96.0%

3 評価の低かった項目

第1位→ 12自分の子供は家庭で本や新聞を読むように心がけている。33.2%

第2位→ 5自分の子供は家庭内で掃除など手伝いに取り組んでいる。49.4%

第3位→ 10自分の子供は自宅学習の時間を確保している。63.7%

第3位→ 9災害時の避難場所や対応について家庭で話し合っている。63.7%

4 第1回(7月)から上昇

第1位→ 16自分の子供は将来の夢や目標を持っている。+9.5%

第2位→ 11自分の子供は進路希望について家庭で話をしている。+9.3%

第3位→ 9災害時の避難場所や対応について家庭で話し合っている。+5.3%

5 第1回(7月)から下降

第1位→ 10自分の子供は自宅学習の時間を確保している。-4.7%

第2位→ 18学校は保護者の意見や相談等を聞く機会を設けている。-2.2%

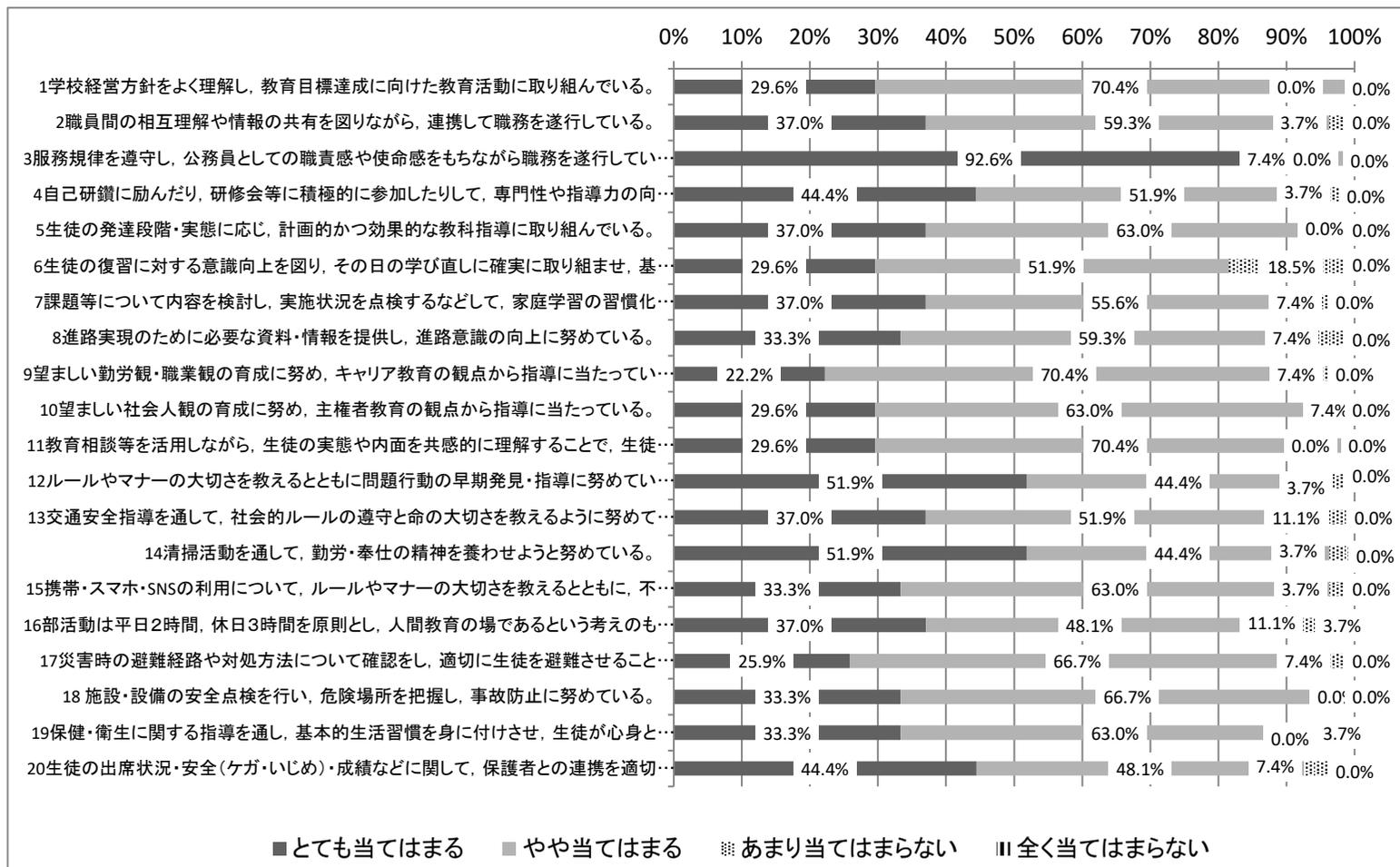
第3位→ 21大島高校に入学させてよかった。-2.1%

6 調査期間 令和6年12月20日~12月27日

7 総括

全体として評価の高かった項目は「3自分の子供は公共の場におけるマナーを守っている。99.2%」, 「4自分の子供は交通ルールを守り、安全に気をつけて登下校している。97.6%」, 「21大島高校に入学させてよかった。96.0%」であった。評価の低かった項目は「12自分の子供は家庭で本や新聞を読むように心がけている。33.2%」が特に低く、それに次いで「5自分の子供は家庭内で掃除など手伝いに取り組んでいる。49.4%」が低い。前回の調査(7月)より上昇した項目は「16自分の子供は将来の夢や目標を持っている。+9.5%」や「11自分の子供は進路希望について家庭で話をしている。+9.3%」であり、時期が進むとともに進路について考えていく様子がうかがえる。前回の調査(7月)より下降した項目については、学年でばらつきがあるもの全体としては「10自分の子供は自宅学習の時間を確保している。-4.7%」や「18学校は保護者の意見や相談等を聞く機会を設けている。-2.2%」という項目であった。

令和6年度 第2回 自己評価(職員用)集計結果



とても当てはまる+やや当てはまる で比較

1 評価の高かった項目 (とても当てはまる+やや当てはまる で比較)

- 第1位 → 3 服務規律を遵守し、公務員としての職責感や使命感をもちながら職務を遂行している。100%
- 5 生徒の発達段階・実態に応じ、計画的かつ効果的な教科指導に取り組んでいる。100%
- 18 施設・設備の安全点検を行い、危険場所を把握し、事故防止に努めている。100%
- 1 学校経営方針をよく理解し、教育目標達成に向けた教育活動に取り組んでいる。100%
- 11 教育相談等を活用しながら、生徒の実態や内面を共感的に理解することで、生徒との望ましい関係を築いている。100%

2 評価の低かった項目

- 第1位 → 6 生徒の復習に対する意識向上を図り、その日の学び直しに確実に取り組ませ、基礎・基本の定着を図っている。81.5%
- 第2位 → 16 部活動は平日2時間、休日3時間を原則とし、人間教育の場であるという考えのもとで、生徒の自主性・社会性の向上に努めている。85.1%
- 第3位 → 13 交通安全指導を通して、社会的ルールの遵守と命の大切さを教えるように努めている。88.9%

3 前回(7月)から上昇

- 第1位 → 18 施設・設備の安全点検を行い、危険場所を把握し、事故防止に努めている。+15.8%
- 第2位 → 9 望ましい勤労観・職業観の育成に努め、キャリア教育の観点から指導に当たっている。+5.8%
- 第3位 → 7 課題等について内容を検討し、実施状況を点検するなどして、家庭学習の習慣化に資する取組を行っている。

4 前回(7月)から下降

- 第1位 → 16 部活動は平日2時間、休日3時間を原則とし、人間教育の場であるという考えのもとで、生徒の自主性・社会性の向上に努めている。-9.6%
- 第2位 → 12 ルールやマナーの大切さを教えるとともに問題行動の早期発見・指導に努めている。-3.7%
- 第3位 → 13 交通安全指導を通して、社会的ルールの遵守と命の大切さを教えるように努めている。-3.2%

5 調査期間 令和6年12月20日~12月27日